

仮換地証明記載の面積
（原則として整数止め）

物件たい積設計書				
敷地	現況の概要	現況傾斜 有 高低差 東+0.3m 北±0、西-0.5m	敷地の面積	105 m ²
	道路との関係(高低差)	南側道路 -0.15~-0.45m	土地の形質 変更の有無	有 ⇒ 別に設計書 (第4号様式)を添付 無
たい積物件	たい積物件名	建設発生土	重量	約 20 t
	たい積及び運搬方法	10 m (L) × 5 m (W) × 1 m (H) ※上部はブルーシートで養生 ダンプトラック (10 t) にて運搬		
	たい積量	44 m ³		
跡地の処理方法		宅地として現況復旧		
その他必要な事項		無		
(注) 現況の概要には、現況傾斜の有無、周辺地盤との関係、高低その他について記載してください。				

土地の高さを基準とし、道路との高低差を記載。高低差が一定でない場合は、最高値と最低値を記載。